

岐阜赤十字病院

病院の概要

開設時期：大正12年
開設者：日本赤十字社 社長 清家 篤
院長名：長島 賢司
病床数：287床
標榜科：消化器内科、血液内科、感染症科、循環器内科、呼吸器内科、甲状腺・糖尿病内科、脳神経内科、一般内科、腎臓内科、外科、甲状腺外科、精神科、整形外科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、リハビリテーション科、リウマチ科、産婦人科、大腸・肛門科、放射線科、麻酔科、内視鏡科、病理診断科

医師数：61名
指導医師数：31名
外来患者数：574名／日
入院患者数：176名／日
所在地：岐阜市岩倉町 3 -36
URL：https://www.gifu-med.jrc.or.jp/



病院の特徴

当院は、大正12年に日本赤十字社岐阜支部常設救護所として発足し、昭和24年に岐阜赤十字病院と改称、昭和37年に現在地に移転し、増改築を繰り返し現在に至っております。

病院の特徴については、①災害拠点病院、②1種感染症指定病院・2種感染症指定病院、③地域医療支援病院があります。①については、岐阜市において4病院が指定されており、地震・津波・台風等の災害発生時には災害医療を行う医療機関の支援をする病院に指定されています。②については、岐阜県において唯一の1種感染症指定病院となっており、エボラ出血熱などの患者が発生した際には保健所を通じて患者を診察します。③地域医療支援病院については、岐阜県において9病院が指定されており、地域で必要な医療を確保するためにかかりつけ医やその他の病院から、より詳しい検査や専門的な治療が必要な患者様について紹介を受け、病診連携、病病連携を図っております。

診療については、甲状腺・糖尿病内科と外科が連携し、甲状腺外科手術を数多く行っております。その外科においては、肛門外科手術、また、眼科の白内障手術については、県下トップレベルの手術件数です。女性泌尿器科（ウロギネ）についても他の病院には無い分野となっております。

臨床研修病院としては、卒後臨床研修機能評価機構（JCPEP）による「臨床研修評価」を受審し、より質の高い研修内容を目指しております。

院長メッセージ



長島賢司
(循環器内科)

当院は全国に91施設ある赤十字医療施設の一つで、大正12年に日本赤十字社岐阜支部常設救護所として発足した病院です。人道、博愛の精神のもとに、岐阜市北部の中核病院として急性期から在宅医療まで幅広く地域医療を支えています。

赤十字には使命の一つに人材育成があります。プライマリー・ケアが適切に行える知識や技術の習得はもちろんのこと、赤十字精神をもち全人的診療を行えるように研修医を育成することも使命と考えています。また、平成29年には卒後臨床研修評価機構の基準を満たし認定病院となりました。

当院は指導医とのマンツーマン方式による指導を基本としており、中規模病院の特性を生かした病院全体で垣根のない研修をサポートします。また赤十字グループのネットワークを活用し、県内外の赤十字施設で院外研修が行え、他施設で働く多くの研修医との交流も出来ます。

ぜひ、当院と一緒に研修しましょう。

指導医メッセージ

当院はこれまで、研修をより良いものにするため、プログラムの変更を重ねてきました。

2年次は、秋田赤十字病院や岐阜大学医学部附属病院等の救急救命センターでの研修を行っています。救急専門医の指導を受ける機会はまたとない経験になるものと思います。研修医による症例検討を月1回実施しております。希望があればいつでも見学OKです。ご連絡ください。

当院は、中規模病院で小回りが効くという特徴を活かし、研修医の要望に沿って自由度の高い研修を行っています。2年次は必修研修を短期間とし、本人の希望する内容の研修を手厚く受けられるよう配慮しています。研修医の募集は少人数で、各科を重複しないように研修を行っています。一人一人の研修をその科全体でバックアップする体制としています。

当院の研修医とあって、彼らの声を実際聞いてみてください。見学をお待ちしております。

研修医メッセージ

岐阜赤十字病院における臨床研修の最大の特徴は、少人数制で研修内容に研修医自らの意見が反映され、実践できることです。少ない期間の中でいかにして多くのことを学び、実践できるようになるかは、研修医と指導医のコミュニケーションと工夫によるところが多いのが現実です。そういう点で、岐阜赤十字病院は、指導医の先生との相談によって自らの研修を組み立てられます。

様々な科で別々のことを学んでいるようでありながら、実際はそれらが少しずつオーバーラップし、日々積み重なっていくのを感じている毎日です。より多くのことを学ぶチャンスに恵まれている岐阜赤十字病院と一緒に研修しませんか。

研修再開を希望される皆さんへ

当院では、他施設で初期臨床を中断された方の受け入れを行っています。研修再開につきましては、ご本人の要望を尊重し、中断前の研修実績を考慮した上で、スムーズな研修が行えるよう病院全体でサポートさせていただきたいと思っています。

研修再開のご相談や病院見学等、随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

研修スケジュール

1年次では必須の診療科を中心に研修を行い、それ以外の期間（1年次の49週目以降）では、各研修医が希望に沿った診療科で研修します。必須の診療科の期間を短期間として、選択できる期間を長く設定することで希望の診療科での研修を手厚くしています。また、ローテートを各診療科ひとりとなるように配慮いたします。

1 年次	内科 (消化器内科、血液内科、循環器内科、呼吸器内科、甲状腺・糖尿病内科、 腎臓内科、一般内科・リウマチ科) (26週)					外科 (4 週)	整形外科 (2週)	泌尿器科 (2週)	救急		一般 外来研修 (4 週)	選択※ ¹ 院内 (6 週)	
									麻酔科 (救急蘇生) (4 週)	救急外来 (4 週)			
2 年次	院外※ ²					選択※ ¹ 院内または院外※ ² (32週)							
	精神科 (4 週)	小児科 (4 週)	産婦人科 (4 週)	救急(三次) 秋田日赤 (4 週)	地域医療 (4 週)								

診療科のローテートは1クール4週（選択は1週～4週までの短い期間の研修も可能）

※¹院内の全診療科または協力病院・施設にて希望する診療科で研修します

※²院外研修先は協力病院・施設から選んでいただき研修します

研修協力病院・施設

□協力病院 高山赤十字病院 各務原病院 □協力施設 美濃市立美濃病院	旭川赤十字病院 岐阜大学医学部附属病院 石村内科 岐阜県赤十字血液センター	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院 岐阜県総合医療センター 小牧内科クリニック	秋田赤十字病院 岐阜市民病院 揖斐郡北西部地域医療センター
--	--	--	---

後期研修

当院は、連携施設として岐阜大学医学部附属病院などの基幹病院と連携して後期研修を行うことが可能です。診療科については、内科、外科、整形外科、泌尿器科、放射線科、麻酔科などがあります。

研修プログラムの目標

赤十字の理念のもと、基本的な臨床の知識と技能を身に着けると共に、患者、家族、他の医療スタッフとの間に良好な人間関係を築くことを目標とする。

研修プログラムの特徴

- ①マンツーマン研修
少人数のため、全ての職員が研修医の顔と名前を覚えており、温かい人間関係の中で研修ができます。また、1診療科1人の研修体制のため指導医と常にマンツーマンで指導を受けることができます。
- ②オーダーメイド研修
1年次の終わりからのローテート（必須の診療科以外の最大8か月間）は本人の希望に沿って決めていくため、非常に自由度の高い研修が可能です。途中の進路変更にも柔軟に対応いたします。
- ③実践型の研修
多様な症例に対して、研修医が主体的に関与して研修しています。やりたいことを自身の希望に合わせてどんどん研修できます。
- ④地域、他の赤十字施設との連携した研修
赤十字のネットワークを活かして、特徴ある診療科を持つ全国の赤十字病院や、地域の医療機関での院外研修が可能です。
- ⑤ワークライフバランス
宿直、日直を除いて時間外の業務、呼び出しはございません。

募集要項

応募資格：Ⅰ 令和10年3月に医師免許を取得する見込みである者
Ⅱ 医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員：4名（予定）

身分給与：
分：常勤嘱託
与：1年次：460,000円（賞与700,000円／年）
年収平均：7,644,169円（R7年度実績）
2年次：535,000円（賞与1,100,000円／年）
年収平均：10,934,251円（R7年度実績）
手当：通勤手当、時間外手当、特殊勤務手当、年末年始手当

住居等：単身用8室（1DK 月額16,000円）

保険等：雇用保険、健康保険、厚生年金保険、労災保険、勤務医師賠償責任保険

連絡先

岐阜赤十字病院 総務課 臨床研修担当
電話番号：058-231-2266
fax：058-233-7772
E-mail：kensyu@gifu-med.jrc.or.jp

交通案内

